

# 令和2年度 学校経営計画書

学校番号	101	学校名	富士市立高等学校	校長名	岩田 享
------	-----	-----	----------	-----	------

## 1 目指す学校像

### (1) 教育目標

自律する若者 ～未見の我を探そう～

「挨拶の励行」「服装を正す」「学びの心を育てる」「夢をカタチにする」

新高校は、「文化の興隆の根源は人に在り 人の啓発は教育に存す」と謳われている建学の精神を受け継ぎ、新たな教育理念CDI（「コミュニティ・ハイスクール」、「ドリカム・ハイスクール」、「探究・ハイスクール」）の実現に向け、学力の向上、探究する力、コミュニケーション能力、社会に貢献する意欲等を育て、「知・情・意」のバランスのとれた心身ともにたくましい「自律する若者」の育成に努め、自然と地域を愛し、富士市や社会に貢献できる人材を輩出する。

### (2) 目標具現化の柱

- ア 「確かな学力」を身に付け、「主体的・対話的で深い学び」を実感できる「魅力ある授業」を展開できる学校
- イ 基本的な生活習慣、環境美化及び規範意識を身に付け、「豊かな人間性」や「良好な人間関係」を育てる学校
- ウ 魅力ある専門教育と学科の特色（「探究の精神（探究学習）」）を活かし、社会人としての資質・能力を身に付けるとともに、教育課程の充実に努め、キャリア教育を推進することにより進路実現を支援する学校
- エ 学校行事や部活動の充実に努め、自主性、協調性、たくましい心身を育成する学校
- オ 家庭・PTA・地域と連携した教育活動を推進し、保護者・地域から信頼される学校
- カ 教育環境の整備・充実及び予算の適正かつ効率的な執行を目指す学校

## 2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	<b>生活及び学習習慣の確立</b>	日々の生徒との関わりを大切に する。 ・毎朝の校門指導 ・毎朝の健康管理チェック (検温の徹底、新型コロナ対策) ・学習時間調査、Classiの活用 ・年4回以上の面接 ・計画的、効果的な課題の提示 (学年の教務、教科担当等で調整)	・学期毎、各クラス延べ欠席数 20人以内、延べ遅刻数5人以内 (入院等の長欠者を除く) ・平均2時間以上家庭学習を行う生徒、前年度比20%増	生徒 教務 保健環境 学年
ア	<b>魅力ある授業実践と授業力向上</b>	教員校内研修を活かし、分かりやすい授業と学力の定着を図る。 ・教員研修週間年2回	・「授業の内容が分かる」生徒70%	教務 企画研究 教科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア		<ul style="list-style-type: none"> <li>出張時における授業振替の励行</li> <li>アクティブラーニングの推進</li> <li>「新しい学力」測定テストの導入</li> <li>授業の共有化と標準化</li> <li>主体的な学びにつながる授業評価の実施</li> <li>「高校生のための学びの基礎診断」測定ツールの活用</li> <li>観点別評価の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の70%以上が「授業に満足している」と答えた教員80%以上</li> </ul>	キャリア支援 学年 学力向上対策委員会 指導主事
イ	学校の安心安全と生徒・職員の健康増進	生命尊重の意識の高揚に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室の実施（年2回）</li> <li>1年生自転車運転技術チェック</li> <li>保健室・教育相談・生徒課情報交換会の実施</li> <li>生徒の実態に即した保健講座の実施</li> <li>「学校生活に関するアンケート」の実施（年2回）</li> <li>いじめ・体罰防止対策に努め、その兆候を見逃さない。</li> </ul> ワークライフバランスの観点から働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>定時退勤日での退庁推奨</li> <li>部活動ガイドラインの趣旨を遵守し、部活動の計画的な活動及び休養日を設定する。</li> <li>管理職による業務記録簿点検及び職員への声かけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車安全指導カード（年間50件以内）、自転車事故件数（昨年度より減）</li> <li>「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」生徒90%</li> <li>学年別に実施する保健講座後の意識向上率20%</li> <li>いじめ・体罰の撲滅</li> <li>週3日以上午後8時以降に残留する職員の減少</li> </ul>	生徒 保健環境 教育相談 学年 管理職
ウ	高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績の向上	褒め、励まし、諭す指導と体系的なキャリア教育を推進する。また、教員の進路指導力と進学体制の充実に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学等との連携及び外部講師の招聘（注）</li> <li>探究学習・キャリア教育の充実</li> <li>進路啓発のための初期指導の強化</li> <li>効果的な面接の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている」生徒80%</li> <li>「学校で勉強した内容をきっかけにもっと知りたいと思う事が増えた」生徒60%</li> </ul>	キャリア支援 企画研究 学年 学科学力向上委員会

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・模試、共通テスト分析会の実施</li> <li>・資格取得の奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外模試の全国偏差値 50 以上の人数及び平均点偏差値の維持</li> <li>・進学（四大 100 名以上）及び就職内定率(100%)</li> <li>・簿記検定 1 級合格率 80%及び全商検定 1 級 3 種目以上合格者 20 名以上</li> </ul>	
ウ	富士市立高等学校改革実施計画の検証と大学入学者選抜改革への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市立高等学校改革実施計画の検証（有識者会議開催）</li> <li>・ポートフォリオ作成（全学年）</li> <li>・令和 3 年度大学入学者選抜の周知</li> <li>・保護者ガイダンスの開催（注）</li> <li>・英語 4 技能評価に対応した指導方法の研究、実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内検証報告書の作成及び今後の方向性の検討</li> <li>・新教育課程の作成</li> <li>・英語資格・検定試験の準 2 級以上の受験者 150 人、合格率 40%</li> </ul>	指導主事 教務  キャリア 支援 企画研究 学科 教科 高大接続改 革対応委員 会
エ	生徒の自主性・協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む	探究学習や特別活動及び部活動を通して、一人ひとりの資質や能力を最大限に伸ばせるよう支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習（「ディベート」「市役所プラン」「自分スピーチ」及び教科「探究」）の充実（注）</li> <li>・生徒会・部活動の充実</li> <li>・各学科の海外探究研修の成果を学校全体で共有する機会の設定（注）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる」生徒 75%</li> <li>・「学校行事・部活動に満足している」生徒 90%</li> <li>・海外探究研修の充実（生徒の満足度 90%）（注）</li> </ul>	企画研究 生徒 学科 学年 指導主事
オ	家庭・PTA組織・中学校・地域との連携	相互の信頼関係を構築し、社会総がかりの教育を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科・学年別懇談会の充実（注）</li> <li>・産官学と連携した教育の実践</li> <li>・地域交流事業（「人工芝で遊ぼう」「吹奏楽技術講習会」「多世代交流サッカー」等）の主催及び地域活動への積極的な参加（注）</li> <li>・学校運営協議会の充実</li> <li>・HPの更新（週 1 回以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年学科別懇談会の出席率 70%（注）</li> <li>・「本校が地域に開かれた学校と感じる」保護者 85%</li> <li>・地域交流の実績 40 回以上（注）</li> <li>・「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されている」と回答する委員 80%</li> </ul>	総務 地域交流 キャリア 支援 情報管理 事務

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
オ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオエフの活用（月2回）</li> <li>・学校見学会の開催（年10回） （注）</li> <li>・中学校訪問の実施（管理職を含め年4回）</li> <li>・学校施設の適切な一般開放 （注）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館・グラウンドの一般開放年間200日以上（注）</li> <li>・庭球場の一般開放年間90日以上（注）</li> </ul>	
カ	適正な事務の執行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に合わせた適切なスクールバスの運行</li> <li>・学校食堂の適切な運営</li> <li>・省エネルギーの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月末現在のスクールバス利用者60人</li> <li>・食堂利用者の満足度80%</li> <li>・電気使用量を前年度比3%削減</li> <li>・コピー機の利用枚数を前年度比減</li> </ul>	事務

（注）新型コロナウイルス感染症対策のため、事業が中止または延期された場合は適切に対処する。